

里山里海アクティビティ

能登キリコ祭り体験

実施報告書

「キリコ祭り」を通じた地域交流から、能登の新しい可能性をさぐる

この夏、「里山里海アクティビティ」は、金沢大学地域連携推進センターと協力して、能登のキリコ祭りに学生を派遣する企画を実施しています。

その第一弾として、7月31日、輪島の名舟大祭に参加。続く第二弾は、8月14日に、七尾の新宮納涼祭（中島鈍打地区）、最後は9月22日、穴水の奈古司神社の秋祭へ。

能登を代表する伝統文化「キリコ祭り」を通して、能登の里山里海とともに生きる地域、人々に触れ、地域の課題を知るとともに、地域の手カヲを学びました。



第1弾

輪島 名舟大祭

能登の伝統文化を“担いで”体験

4年前からキリコ祭りへの参加を継続している、地域創造学類の学生のほか、大学院生や女性4名を含む計20名が参加しました。最初はお祭り気分だった学生も、責任者の掛け声で緊張感と一体感がぐっと高まり、夜の9時から夜中2時まで、時には交代しながら、無事にキリコを担ぐことができました。地域との“一体感”を感じる、貴重な経験となりました。

●2010年7月31日（土）～8月1日（日）



← 最初に組長さんのお宅で「名舟祭り」について教えていただきました。

→ 最後はキリコ宿元で打ち上げ。無事に終わったことを喜びあいました。



← 6つの家庭にわかれて、ごちそうをいただき、ホームステイをさせていただきました。

学生の感想

キリコ祭りに初めて参加しました。みなさん誇りを持ってやっているように見え、地元の伝統がしっかり受け継がれていると感じました。けれど、人手不足は本当にたいへんだと思いました。学生が世間へ情報発信してお手伝いできればと思います。また、御陣乗太鼓に興味をわき、もっと知りたくなりました。来年もぜひ参加したいです。

（金沢大学・1年・女性）

スケジュール

17:00	組長宅でお祭りの説明、グループ分け
18:00	ステイ先でお祭りのごちそう&交流
20:45	キリコ宿元に集合
21:00	キリコ宿元を出発
22:00	舳倉島より奥津姫神をお迎え
22:30	御陣乗太鼓奉納打ち
24:00	お神輿渡御、キリコ行列
1:30	広場に到着、キリコ解体

第2弾

七尾 新宮納涼祭 地域の方とゆっくりじっくり交流

●2010年8月14日（土）～15日（日）

七尾の新宮納涼祭（中島鉦打地区）には、留学生や東京の学生を含む14名で参加。雨のため、キリコは出なかったのですが、キリコの組み立て、神事を体験させてもらいました。また、地元の郷土史家の方にまつり会館をじっくりご案内いただき、翌日は5人の町会長さんと地域を歩いて見学。地域の方と、そして参加者同士の交流を深めました。



↑ 町会長のてほどきを受けて、キリコの組み立てのお手伝い。一つひとつ金具を磨いて…。完成前のキリコを見るのは、みんなはじめて。



← まつり会館を、地元の郷土史家唐川さんにご案内いただきました。2時間かけて、祭り博士になりました。



↑ 藤津彦神社の神事に参加し、学生3人が「玉串奉典」を体験。



↑ 夜の交流会。地元の「鉦打米」を美味しくいただきました。

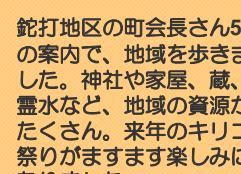


スケジュール

1日目
 9:30 地区のセンターで説明
 10:00 キリコ組み立て体験
 14:00 まつり会館を見学
 17:00 夕食準備
 18:00 お宮で神事を体験
 20:00 交流会

2日目
 9:00 地域を散策
 10:30 町会長さんたちと交流

2日目 地域を歩く



鉦打地区の町会長さん5人の案内で、地域を歩きました。神社や家屋、蔵、霊水など、地域の資源がたくさん。来年のキリコ祭りがますます楽しみにまりました。

学生の感想

日本の伝統文化を体験したくて参加しました。神社での儀式は伝統的な雰囲気味わえて、思い出に残りました。雨でキリコは中止されましたが、来年が楽しみです。

（中国・23歳・男性）

お寺や神社など、いつも疑問に思っていたことについて質問でき、勉強になりました。お宮での神事が印象的でした。また、地域の過疎化を直接体験してさらに深刻さを感じました。今回は地域のみなさんとのいいご縁となり、よかったです。来年も参加したいです。

（韓国・23歳・女性）

キリコの組み立てを初めて見れて面白かった。大勢の人がかかわって、世代間で教えつつ作ることが、コミュニティの力を強くするのかなと思いました。

（金沢大学・20歳・女性）

地域の方々のつながりと協働作業、助け合って生きているということが、ふとすると一人で生きている気分になる東京都違い、深く実感できました。

（東京・25歳・女性）

留学生や外国、東京からの参加者がいて、いろいろな価値観の人と交流できて楽しかった。

（金沢大学・19歳・男性）

第3弾

穴水町 岩車地区奈古司神社秋祭

●9月22日（水）～9月23日（木）

雨にも負けず... 地域のもてなしと祭りを体験

アクティビティ主催のキリコ祭り体験ツアーの最終回、穴水町岩車のキリコ祭りに、金沢大学より学生3名、中国とバングラデッシュからの留学生2名、教員等5名の計10名が参加。

生憎の悪天候でキリコの巡行は中止になりましたが、地域の人たちとの交流会や、穴水ならではの里海体験を楽しみました。23日の本祭りでは神輿担ぎや太鼓の演奏などの貴重な体験をさせていただき、来年に繋がる良い交流活動となりました。

※学生のアンケートは現在集計中



← 最初に、公民館で「穴水町岩車と奈古司神社の由縁」について教えていただきました。



祭りにむけて、太鼓が盛り上げます。留学生にとってはすべてが初体験。

→ 拝殿での直来では、輪島塗の大きな杯でお神酒と菱餅とおこわをいただきました。



初日の夜、そして2日目の昼間、地域の人たちと交流会。とにかく交流会が楽しく参加者の印象に残りました。↑



奈古司神社での御輿の社巡り

お祭り三昧

珠洲市 蛸島の秋祭り&寺家の秋祭り

●9月10日（金）～9月11日（土）

参加者も多種多様。

祭りと地域と、いろいろな関わり方が生まれています。

蛸島は、NPO能登半島おらっちゃんの里山里海の研究員・赤石さんの受入れ支援により、金沢大学の学生3名が、ドテラを着て、キリコを担ぎました。初日の夜、2日目の昼と、長時間の体験で、「地域の方と少しずつ仲良くなれた気がします。来年は準備から全部参加したい」と、みなさん大満足でした。ちなみに、2名は卒論でキリコ祭りをテーマにする予定です。



寺家の祭りには、コンソーシアムの課題ゼミで金沢美大、その取材班として金沢大学、そしてシニア短期留学、さらに金沢南ロータリークラブと、さまざまな参加者が日本一のキリコ担ぎを体験しました。

